



異物除去法などをご紹介します

食べ物などのどにつまってしまったら

食べ物など異物がのどに詰まると、窒息から死に至ることがあります。冬になると、お餅などを詰まらせて救急搬送される方もいます。

今回は、異物を詰まらせてしまった場合の対応方法をご紹介します。

◆窒息と判断したら…

「声が出せない」「顔が青い」「苦しそうにのどをつかむ」などの症状があれば、窒息の疑いがあります。この場合、次のとおり対応してください。

- ①すぐに119番通報
- ②異物除去を実施

咳は異物除去に最も効果的ですが、自分でできない場合は、次の異物除去法を行ってください。

※異物が取れるまで行い、反応がなくなった場合は心肺蘇生法を行ってください。

◎腹部突き上げ法

- ①患者の後ろに回ります。
- ②片手で握り拳を作り、へそより上、みぞおちよりやや下に当てます。もう片方の手を重ね、手前上方にむかって素早く圧迫します。
- ③内臓を傷める可能性があるため、異物が取れた場合でも医師の診察を受けさせてください。



◎背部叩打法

- ①患者の後ろに回ります。
- ②患者の両肩甲骨の間を手の平の付け根で力強く何度も連続して叩きます。



3月から119番通報の受信場所が変わります

平成24年3月から、119番通報の受信場所が現在の田原市消防署通信室から**消防指令センター**（豊橋市中消防署内）に変わります。

東三河5市（豊橋・豊川・蒲郡・新城・田原）すべての119番通報を消防指令センターで受信し、消防車や救急車の出動指令を一括して行います。また、指令センター機器が新しくなり、携帯電話での通報位置表示ができることから、ある程度の場所の特定が可能となり、出動までの時間が短縮されます。

なお、受信場所が変わっても通報手順は変わりません。これまでどおり、固定電話・携帯電話・IP電話から「119」でつながります。

現在、聴覚障害がある方が利用しているファックスによる緊急通報も消防指令センターで直接受け付けるほか、新たに携帯電話・パソコンからの電子メールでの緊急通報も受信が可能となります。

1秒でも早く救急車・消防車が現場に到着できるように、通報時には指令員の指示に従い、落ち着いてお話しください。

▼消防署 ☎23局0119
▼福祉課 ☎23局4654

東三河5市の119番通報の流れ(H24/3~)

